

KAWASAKI CLUB NEWS

2009 JUNE vol.4

第4号

発行: KAWASAKI CLUB
 住所: 倉敷市松島577番地
 川崎学園内本館棟8階
 (TEL 086-464-1546)
 Eメール:
 club@med.kawasaki-m.ac.jp
 ホームページ:
 http://www.kawasaki-m.ac.jp/club

平成21年1月19日に開催された理事会・評議員会において、川崎医科大学、川崎医療短期大学、川崎医科大学附属高等学校の施設長が新しく選任されました。川崎医科大学と川崎医療短期大学の新学長となられたお二人から、KAWASAKI CLUBへご挨拶をいただきました。

平成20年6月、本館棟8階に本学園の卒業生や本学園に勤務された教職員の方々の「生涯学習」や「生涯教育」のために、KAWASAKI CLUBラウンジが完成し、1年が経過しました。毎日、ラウンジを見遣りながら、利用者が増加するのを願っています。

川崎医科大学は、創設期から全人的医療ができる良医を育成するために、医学・医療教育に力を入れてきました。そして、その目的のため、国内外から多くの教職員が参集されました。その当時、旧来の医科大学・医学部では想像もできない先進性を持った教育システムが構築されました。

たとえば、基礎医学と臨床医学を統合した臓器別のブロック講義、専門分野別の内科、総合診療部の新設、現代医学教育博物館の創設、救急医学講座の新設などです。これらに

関与された第一世代と呼ばれる方達は殆どが第一線から退かれています。爾来40年、時は移り、人は変わり、創設期のことを知る教職員も少なくなりました。これ



川崎医科大学学長 福永 仁夫

らの先見性は川崎祐宣先生によるリーダーシップの下、成就したものです。たとえば、地域医療の必要性、幅広い診療科をカバーし総合的な医療を担うことができる医師の育成、救急医療を含む主要診療科の研修医ローテーション、実践に役立つ医学・医療教育の早期開始、知識、技能などと共に「人間（ひと）をつくる」教育、協調性を涵養できる学生寮の建設などであります。

我が国の地域医療の崩壊、診療科の偏重などの結果に対して、医学界は後手に回り対応に苦慮しています。しかし、本学では、若く、有能で医学教育や学生指導に情熱をもつ教員

KAWASAKI CLUB

が多数おり、カリキュラム改革を含め医学教育のレベル向上を目指して

先手を取るべく頑張っています。どうかOBの皆さま方には学園祭などの折にKAWASAKI CLUBにお越しいただき、情報交換の場として貴重な御助言や御教示を賜りますことを望みます。

昭和48年に創立された川崎医療短期大学は今年で37年目を迎えました。現在は、創立時からの第一看護科（看護科に名称変更）、臨床検査科とともに、放射線技術科、介護福祉科、医療保育科の5学科で構成されています。また、順次医療福祉大学に改組された医療秘書科、栄養科、医用デザイン科、臨床工学科（旧医用電子技術科）などに加え、惜しくも廃止になった、第二看護科、医療秘書科通信教育部などを卒業された方々も多数おられ、それぞれの分野でご活躍中の同窓生が実に12,380名にのぼります。さらに、創設者故川崎祐宣先生をはじめ、今日の短大の礎を築いてこられた多くの教職員の方々にも思いを致すと、優に12,500名を超える人々が、短大で学び、教鞭をとり、勤務をしてこられたこととなります。

これまでは、このように多数の方々が、折につけ学園を訪問されてもくつろいでいただける場所がありま



川崎医療短期大学学長 今城 吉成

せんでした。こうした中、約1年前に本館棟8階にラウンジが設けられ、図書館の利用も可能なサロンの雰囲気をもったKAWASAKI CLUBが設立されました。

ラウンジの落ち着いた雰囲気の中、ゆったりと椅子に腰かけると、今後皆さんの利用のいかんによっては、同窓会館のような姿に発展していくのかも知れない一との夢が来します。

学会や研究会、お見舞いなどで近くに來られた時、調べ物での図書館の利用や母校に所用ができたときなど、気軽に利用できる施設ができたことは、短大の卒業生や教職員OG、OBにとって、母校や旧職場との距離を縮める効果があり、医学・医療・福祉の新しい息吹に

触れる機会も提供してくれま

す。多くの方々がこのCLUBを利用されることを願わずにはおれません。

来し方行く末

2009 学園祭 10月10日(土)11日(日)

統一テーマ ひだまり

●医学講演会のテーマ決定

「肥満と肝疾患について」14:00~16:00

講師: 日野啓輔 (川崎医科大学 内科学教室(肝・胆・脾)教授、同大附属病院 肝・胆・脾内科部長)

●学園祭と同時にオープンキャンパスも開催します。

※ 各種イベント情報等は決定次第、学園祭HPでお知らせします。

川崎医科大学附属病院

北館棟竣工



平成12年から大学、病院の増改修を進め、今年3月には8階建ての北館棟が竣工しました。



副理事長 川崎 誠治

平成12年から、附属病院を中心とした増改修工事がスタートして9年が経過し、西館棟増築工事、本館棟全面改修工事等をほぼ終え、安全で安心して高度な医療を受け入れる施設整備を整えてまいりました。また、患者さま一人ひとりに最

適な治療を行えるよう、従来の診療科単位の病棟・外来構成から、臓器・機能別のセンター

外来・病棟へ移行しています。

増改修工事の一環として、高度救命救急センター外来・病棟・ICU等が手狭になってきたため、リハビリテーション学院の建物を取り壊し、その跡地に「北館棟」を増築しました。

北館棟には県内唯一の高度救命救急センター（外来・病棟）、健康診断センター、リハビリテーションセンター、回復期リハビリテーション病棟、川崎リハビリテーション学院などが入っています。

高度救命救急センターは、救急専門医を中心に全科の医師が救急診療体制を組んでいます。が、「北館棟」の竣工に伴い施設設備の拡充が図られたことにより、さらに迅

速かつ的確な診療が可能になりました。3月6日24時間、歩いて来院される初期救急患者さまから重症の三次救急患者さままで、決してお断りすることなく受け入れる体制を目指しています。

現在は、既存の救命棟の耐震補強工事と全面改修工事に着手し、大規模災害時の災害拠点病院としても整備していきます。年内には、2階に脳神経センター外来、3・4階に救急ICU・SCUを整備し、「北館棟」と二体化して、西日本でも最大規模を誇る「高度救命救急センター」がグランドオープンする予定です。

近代医学の粋と、温かい愛情と、快適な設備を完備して、患者の信頼にこたえる病院づくり

救急外来（1階）

高度救命救急センターとして、地域の皆さまが安心して救急医療を受けられるよう、西日本最大規模の機能と環境が整っています。充実した機能を持つ重症処置室と初療室にて、救急搬送された重症患者さまに対応しています。さらに、外来診察室、点滴・処置室等のスペースを十分に確保し、大規模災害時にも対応できる空間となっています。



受付・待合

専門のスタッフによる充実した救急医療の提供

高度救命救急センター病棟（4階）
病室は、重症度と感染症対策を考慮して、HCU、アメニティーに配慮した個室および4人室を機能的に配置しています。

また、専用エレベーター、渡り廊下で、救急外来やヘリポート、手術室に直結されています。



重症処置室



スタッフステーション



ICU

リハビリテーション科外来、 リハビリテーションセンター (2階)

外来診察室、理学療法・作業療法・言語療法の各訓練室を機能的にワンフロアーに配置し、患者さまの動線を短縮しています。地域リハビリテーション推進の拠点施設、また内外の教育・研修施設として、回復期リ



作業療法室

ハビリテーション病棟と連携して携っています。



理学療法室

早期社会復帰の支援

回復期リハビリテーション病棟 (5・6階)

特定機能病院の回復期リハビリテーション病棟として、早期

社会復帰をめざす患者さま、車椅子中心の入院生活の患者さまにやさしい病棟となっています。同じフロア内に病棟リハビリ室が設けられ、日常動作を考慮した療養環境(病室、トイレ、浴室)が整っています。



病棟リハビリ室



個室

質の高い健康診断と 一次予防医療

健康診断センター(3階)

特定機能病院の専門性を活かした、高度で質の高い健康診断を行っています。運動指導室、個別・集団指導室を配置し、生活習慣病の一次予防や健康増進のための、保健指導・運動指導・栄養指導等の提供をしています。



個人指導

待望の新校舎

専門学校 川崎リハビリテーション 学院(7・8階・一部3階)

学院玄関を1階に設け、3・7・8階を行き来する専用エレベーター、最新設備の講義室・実習室・図書室・講堂・学生ラウンジなどが整備されました。病院本館棟8階よりリハビリテーションセンターと直結した場所に位置するもので、最善の環境で実習が行われています。



運動指導室での集団指導



機能訓練室



ADL実習室

助産学コース

医福大大学院

西日本初の大学院で 学ぶ助産師養成

平成21年4月から、川崎医療福祉

社大学大学院保健看護学専攻において、西日本で初めての助産学コースを開講しました。教育理念は、女性の一生に寄り添える助産師を育てることです。本学の特徴の、大学院で助産師を養成する理由は、研究的視点を持つ助産師を育てること、将来、臨地における課題解決能力を発揮できる人材を育成するためです。また、助産師の育成も重要であると考えてい



指導教員とともに

るため、隣接する附属病院を中心に、地域の医療機関との連携も密にとり、教育と臨地の現場が一体となって地域全体で次世代を担う助産師養成を目指しています。

職場復帰支援センター 開設のお知らせ

7月より、KAWASAKI CLUB
内に職場復帰支援センター
を開設します。

医療の現場から離れて、職場
復帰をお考えの皆さん
KAWASAKI CLUBが、職場
復帰をお手伝いします。
お気軽にご連絡ください。

★お問い合わせ先★
KAWASAKI CLUB
086-464-1546

産婦人科紹介

附属病院



女性医療センター外来待合

平成18年7月より前任の河野教授の後を受け産婦人科診療を行っております下屋浩一郎です。着任当初は私を含めて2名で教室運営を担当する状況で、皆さま方に多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしました。その後、諸先生方のご尽力をいただき現在常勤医師6名、非常勤医師3名で診療に従事しています。また、新生児科も川本部長が着任され周産期医療の充実が図られています。私が周産期指導医、生殖医療専門医として、中村准教

授が婦人科腫瘍専門医（岡山県では4名のみ）として産婦人科領域に対応しています。最近増加してきている尿失禁や子宮脱等骨盤機能が再建外科領域についても専門医が最先端の治療を行っています。周産期領域では、最新の超音波検査機器を用いてベビーを立体的に観察して早期の異常の発見や母児の愛着向上が出来るようにサポートしています。早産、合併症妊娠の管理はもとより、積極的に妊娠前からのカウンセリングや母体管理を行っています。また、不妊治療では特に合併症を有する女性の治療を行っています。一方、婦人科腫瘍領域では、積極的に内視鏡

学園エポック

救命救急センター

救命救急センターは、昭和54年に岡山県内における重症救急患者さまの収容・治療の中心的施設として、国・県・大学が一体となり県下で初めて開設されました。年中無休昼夜診療施設として運用され、ベッド数は重症室10床、病室46床、センター内には救急専任医師15名、専任看護師30名の職員が配置されました。また、高度の医療機器が置かれ、単に医療の場所としてだけでなく、新しい卒前卒後教育の場所としても利用されています。救急部はあらゆる救急患者受入れの部門であり、救命救急センターはその入院患者受入れの部門でした。

「24時間いつでも診療を行う」という当院の基本理念は開設以来貫かれています。



救命救急センター

手術を行うとともに放射線科、臨床腫瘍科などの他科と連携して悪性腫瘍の集学的治療を行っています。皆さま方からお一人でも患者さまをご紹介いただければ幸いです。

学科の今 看護科 短大

大きいグループ、その中での「個」を大切に

この3月、120名への定員増になった学生たちが卒業しました。きめ細かな指導が必要な学内での基礎看護技術の実習をはじめ、よい看護をするには何を学ぶかを指導するには、患者さま一人ひとりのそばで学生について、いわばマンツーマン体制が必要になります。教育内容や方法を試行錯誤、工夫したとはいえ、彼らは蓄えた力をこれからのように発揮してくれるでしょうか。

ただ、実習を終えて毎年調査している満足度はこれまでと同様高く、「ナースから看護についての考え方や、記録の指導を受けよくわ

かった」「患者さまやご家族への配慮をどうすればいいかお手本になった」など肯定的な意見が多数記されています。附属病院をはじめ実習でお世話になった諸施設に深く感謝しています。そして附属病院に約50%の卒業生がお世話になりました。また福大をはじめ国公立大学への編入者も例年より多く、勢いよく学生生活を送ってくれたことにホッとしています。



病棟での実習風景

公開講座・セミナーのご案内

詳細については、各施設のホームページなどでお知らせいたします。

《附属病院》

市民公開講座

◆**肥満とがん ～意外と知らない肥満とがんの関係～**

9月6日 会場川崎医療福祉大学
連絡先 ☎086-464-1164 病院庶務課

講演会

◆**第5回Cancer Seminar「がんの緩和ケア」**

7月11日13:30～15:30 講師＝大西秀樹（埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科教授）、合田文則（香川大学医学部附属病院腫瘍センター長、総合診療部准教授）、阿部光徳（附属病院患者診療支援センター医療ソーシャルワーカー） 会場現代医学教育博物館
対象 医師、看護師、薬剤師、コ・メディカル 参加無料 連絡先内線82306 地域医療連携室

◆**医学講演会「肥満と肝疾患について」**

10月10日14:00～16:00 講師＝日野啓輔（同大内科学教室（肝・胆・膵）教授、附属病院 肝・胆・膵内科部長）

《医福大》

教養講座

◆**タイの文化と生老病死**

6月13日、20日、27日10:25～11:55 講師＝飯田淳子（同大医療福祉学科准教授）

◆**西洋宗教美術の見方・読み方Ⅰ～Ⅴ**

9月12日、26日、10月10日、24日、11月7日10:25～11:55 講師＝梶田博司（同大医療福祉デザイン学科教授）

◆**英国の方言（地域）**

11月14日、28日10:25～11:55 講師＝ティム・クレミンソン（同大医療秘書学科講師）

公開講座

◆**岡山県における高次脳機能障害支援普及事業の到達点**

10月3日13:30～16:30 講師＝後藤祐之（旭川荘高次脳機能障害支援室長）、水子 学（同大臨床心理学講師）、池田恵子（介護老人ホーム白梅の丘ケアマネージャー） コーディネーター＝種村 純（同大感覚矯正学科教授）
会場2601講義室

公開セミナー

◆**中学校教諭、養護教諭のための子どもの眠りと健康講座**

7月4日、11日13:00～16:00 会場臨床心理学実習室 対象 中学校教諭、

養護教諭、児童関係職種、学科卒業生 定員各15名 参加費＝500円 連絡先内線 54556 白神

◆**あなたの『困った!』に役立つ社会福祉士 ～くらしのなかの医療福祉～**

8月1日13:30～15:30 会場6101講義室 対象一般、受験生保護者、高校生 定員120名 参加無料 連絡先内線 54514 田淵 お申込は郵送・FAX・E-mailで。FAX 086-464-1149 E-mail fukushi@mw.kawasaki-m.ac.jp

◆**医療機器のしくみ ～音で見る超音波診断装置～**

8月9日13:00～13:30 会場6353講義室 対象高校生 参加無料 連絡先内線 54657 臨床工学科準備室

◆**マンガ塾 ～マンガキャラクターのやさしい作り方～**

8月9日10:30～14:30 会場3360実習室 対象高校生 定員30名 参加無料 連絡先内線 54900 武田 お申込は郵送・FAX・E-mailで。FAX 086-464-1109 E-mail oto@mw.kawasaki-m.ac.jp

◆**もし病院にかかったら ～ばっちり体験?人と情報の流れ～**

8月9日13:00～13:30 会場3101講義室または3105実習室 対象高校生、一般 参加無料 連絡先内線 54310 医療情報学科準備室

◆**卒業生のためのセミナー**

8月29日13:00～17:00 会場6101講義室 対象卒業生 定員60名 参加無料 連絡先内線 54022 坂本、54611 太田 お申込は電話・FAX・E-mailで。FAX 086-463-3508 E-mail kei@mw.kawasaki-m.ac.jp

◆**ヘルシークッキング**

後期9月17日、10月1日、15日、22日、29日、11月12日10:00～12:00 会場3階東調理実習室 対象一般、栄養士、管理栄養士 定員18名 参加費＝4,300円 連絡先三宅妙子 お申込はFAXで。FAX 086-464-1109

◆**乳幼児の文字との出会い 本の世界を子どもと楽しむために**

9月19日13:00～16:00 会場臨床心理学実習室 対象一般、子育て中の保護者、保育・幼児教育関係者 参加無料 連絡先内線 54556 白神

◆**ご自身とご家族と周囲の人々のメンタルヘルスのために ～うつ病の理解と対処～**

9月26日13:00～15:00 会場6201講

義室 対象一般 定員70名 参加無料 連絡先内線 54832 能登

◆**医療機関従事者のためのフォローアップ ～患者（医療消費者）の視点を中心に～**

9月26日14:00～16:30 会場10階大会議室 対象医療機関・企業の秘書業務、事務業務従事者、本学卒業生 定員40名 参加無料 連絡先内線 54612 小池、54948 寺延

◆**聴覚障害のリハビリテーション**

9月27日13:30～15:00 会場4602講義室 対象一般、医療従事者、卒業生、学生 参加無料 連絡先内線 54904 長江

◆**学校教育における健康教育の現状と課題 ～求められる教師の資質能力とは～**

10月3日10:30～12:30 対象 本学科卒業生（教員）、本学科学生、教員、一般 参加無料 連絡先内線 54916・54907 健康体育学科

◆**中高年のためのアクアエクササイズ**

後期10月6日、13日、20日、27日10:00～12:00 会場福祉大体育館プール 対象一般 定員各30名 参加費＝1回500円 連絡先内線 54531 健康体育学科実習室

◆**特定健診特定保健指導の具体的な取り組みと解決方法**

10月17日13:30～16:00 会場3601講義室 対象卒業生、栄養士、管理栄養士等関係者、一般 定員350名 参加無料 連絡先堀尾 お申込は郵送・FAX・E-mailで。FAX 086-464-1109 E-mail mitagawa@mw.kawasaki-m.ac.jp

《短大》

公開講座

◆**第2回 ヒトにやさしい優れモノ～超音波の医療応用～**

8月22日10:00～11:30 講師＝畠二郎（同大臨床検査科教授） 会場体育館101号教室 対象高校生、一般 定員200名 参加無料 連絡先 ☎086-464-1032 公開講座係

◆**第3回 性と健康 ～自分で選ぶ自分らしさ～**

10月10日10:00～11:30 講師＝松本明美（同大看護科教授）、登喜玲子（同大教授）、日下知子（同大講師） 会場体育館102号教室 対象高校生、一般 定員200名 参加無料 連絡先 ☎086-464-1032 公開講座係

高校生「やさしさ発見!」フォトコンテスト募集中

課題:

あなたが見つけた「やさしさ」を写真とメールでレポートしてください。地球にやさしい、環境にやさしい、人にやさしい、体にやさしい、やさしい心、やさしい気持ち…

対象:

全国の高校生

応募期間:

5月1日(金)～9月15日(火)

応募方法:

デジタルカメラ、カメラ機能付携帯電話で撮影した写真をメールに添付して送信してください。

主催:川崎医療福祉大学

詳細は、川崎医療福祉大学のHPをご覧ください。

オープンキャンパスの日程

※詳細は各施設のHPをご覧ください。

川崎医科大学

《第1回》8月22日(土) 10:00～

《第2回》10月10日(土) 10:00～

[学園祭と同時開催]

川崎医療福祉大学

《第1回》6月21日(日) 10:00～14:30

《第2回》8月9日(日) 10:00～14:30

《第3回》9月13日(日) 10:00～14:00

《第4回》10月10日(土)・11日(日)

10:00～14:00

[学園祭と同時開催]

《第5回》平成22年3月21日(日)

13:00～16:00

川崎医療短期大学

《第4回》7月26日(日) 10:00～15:00

《第5回》8月22日(土) 13:00～16:00

《第6回》10月10日(土)・11日(日) 10:00～15:00

[学園祭と同時開催]

川崎医科大学附属高等学校

《第1回学校説明会》8月29日(土) 13:30～

《第2回学校説明会》10月18日(日) 10:00～

《第3回学校説明会》11月21日(土) 13:30～

川崎リハビリテーション学院

《第2回オープンスクール》7月25日(土) 13:00～

《第3回オープンスクール》10月10日(土) 13:00～

[学園祭と同時開催]

平成22年度入試情報

川崎医科大学 (医学部)

- ◆特別推薦入試 一次選考=11月14日<一次合格発表=11月21日>▽二次選考=11月28日<合格発表=12月4日>(出願期間=10月31日~11月6日)<中国・四国地域枠 約15名、岡山県地域枠 約5名>
- ◆一般入試 一次試験=平成22年1月23日<一次合格発表=1月26日>▽二次試験=平成22年1月30日または31日<合格発表=2月3日>(出願期間=12月7日~平成22年1月18日)
- ◆大学院入試 日程等未定(決まり次第HPで公開します)

川崎医療福祉大学 (医療福祉学部、医療技術学部、医療福祉マネジメント学部)

- ◆AO入試(医療福祉学科、医療福祉経営学科、医療秘書学科、医療福祉デザイン学科、医療情報学科のみ) 試験日=9月20日(出願期間=8月17日~27日)<合格発表=10月9日 募集人員 56名>
- ◆特別入試・社会人特別選抜・帰国生徒特別選抜 試験日=11月1日(出願期間=10月13日~21日)<合格発表=11月6日 募集人員 206名>
- ◆推薦入試 試験日=12月6日(出願期間=11月16日~25日)<合格発表=12月10日 募集人員 166名>
- ◆一般入試前期 試験日=平成22年2月7日(出願期間=1月12日~27日)<合格発表=2月13日 募集人員 284名>
- ◆一般入試後期 試験日=平成22年3月16日(出願期間=2月26日~3月9日)<合格発表=3月19日 募集人員 35名>
- ◆センター試験利用入試前期(大学入試センター試験のみ利用し、個別学力検査等は課さない) (出願期間=平成22年1月12日~27日)<合格発表=2月13日 募集人員 72名>
- ◆センター試験利用入試後期(大学入試センター試験のみ利用し、個別学力検査等は課さない) (出願期間=平成22年2月26日~3月11日)<合格発表=3月19日 募集人員 37名>
- ◆編入学試験 試験日=8月27日(出願期間=8月6日~20日)<合格発表=9月3日 募集人員 40名>
- ◆大学院入試 修士課程・博士後期課程1期 試験日=9月10日(出願期間=8月24日~9月3日)<合格発表=9月17日 募集人員 修士課程55名、博士課程若干名>
- ◆大学院入試 修士課程・博士後期課程2期 試験日=平成22年2月23日(出願期間=2月1日~15日)<合格発表=3月2日 募集人員 修士課程22名、博士課程15名>

川崎医療短期大学 (看護科、臨床検査科、放射線技術科、介護福祉科、医療保育科)

- ◆AO入試(看護科・介護福祉科・医療保育科のみ) 試験日=9月26日 二次面接(出願期間=9月1日~15日)<合格発表=10月1日 募集人員 45名>
- ◆特別入試 試験日=10月17日(出願期間=9月28日~10月10日)<合格発表=10月23日 募集人員 89名>
- ◆推薦入試(指定校・公募)(指定校推薦は看護科・介護福祉科・医療保育科のみ) 試験日=11月7日(出願期間=10月19日~31日)<合格発表=11月13日 募集人員 107名>
- ◆一般入試前期 試験日=平成22年1月29日(出願期間=1月4日~22日)<合格発表=2月5日 募集人員 113名>
- ◆一般入試後期A(大学入試センター試験を利用する試験)・B(本学入試問題による試験、臨床検査科を除く) 試験日=平成22年3月12日(出願期間=2月22日~3月6日)<合格発表=3月16日 募集人員 16名>

川崎医科大学附属高等学校

- ◆専願入試 試験日=平成22年1月24日(出願期間=1月8日~21日)<合格発表=1月27日 募集人員 約23名>
- ◆一般前期入試 試験日=平成22年2月7日(出願期間=1月28日~2月4日)<合格発表=2月10日 募集人員 約9名>
- ◆一般後期入試 試験日=平成22年2月20日(出願期間=1月12日~17日)<合格発表=2月24日 募集人員 約3名>

川崎リハビリテーション学院 (理学療法学科、作業療法学科)

- ◆推薦入試 試験日=11月7日(出願期間=10月19日~31日)<合格発表=11月13日 募集人員 17名>
- ◆社会人入試 試験日=11月7日(出願期間=10月19日~31日)<合格発表=11月13日 募集人員 16名>
- ◆一般入試 試験日=平成22年1月29日(出願期間=1月4日~22日)<合格発表=2月5日 募集人員 17名>

※平成21年6月現在の情報です。詳細は各施設のHPをご覧ください。

学園の今 「川崎学園だより」 などから

(平成20年9月~平成21年5月)

- ◆医福大 WEB履修登録システム運用開始(9月)
- ◆病院 各センター外来、続々とオープン(10・11月、3・4・5月)
- ◆高校 寮給湯設備をエコキュートに改修(12月)
- ◆病院 北館棟竣工(3月3日)
- ◆医大 大学評価による大学基準に適合が認定(3月12日)
- ◆リハビリ 新校舎竣工(3月)
- ◆医大 入学定員が110人に変更(4月)
- ◆短大 平成21年度入学生より学年制から単位制に改正(4月)
- ◆事務局 北館棟落成披露行事開催(4月12日)
- ◆医福大 さだまさし氏による特別講義開催(4月24日)

附属図書館の利用状況とOPAC検索

平成21年4月より学園3大学の附属図書館の蔵書検索サービス(OPAC)が、皆さまにもご利用いただけるようになりました。「KAWASAKI CLUB」のホームページよりアクセスできます。また、平成20年6月から平成21年5月までに「KAWASAKI CLUB」の皆さまの中で図書館の利用登録をされた方は244名、貸出冊数は1,417冊でした。

皆さま、どうぞご利用ください。



短大図書館内

KAWASAKI CLUB からのお願い

KAWASAKI CLUBでは、年2回情報誌「KAWASAKI CLUB NEWS」をお届けいたします。住所変更・カード紛失等がございましたら、メールか電話にてお知らせください。

E-mail club@med.kawasaki-m.ac.jp

電話 086-464-1546

いごよろしく